

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	法政大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ホウセイダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	キャリア体験事前指導(A・Bコース)、キャリア体験学習(A・Bコース)
	学部・研究科等名	キャリアデザイン学部
	担当教職員名・役職	松浦 民恵・准教授
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	25
	受入企業等数	25
受入企業等名	サービス業、不動産業など25社	
インターンシップの分類	2.有給インターンシップ 4.国際機関でのインターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 7.大学院生を対象とした研究インターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	業務への従事は営業同行、事務補助など。課題の解決はグループワークによる事業立案など。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 5.当該インターンシップは、選択必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次～4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	4単位(通年)
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	学部で実施している体験型学習(選択必修)。当授業では、インターンシップ先は受講生が開拓し、原則として夏休み中に、インターンシップを体験する。
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している 5.その他
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	インターンシップの現状・仕事や労働条件に関する解説、インターンシップ先開拓スキルの向上支援など。
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている 4.その他
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	インターンシップを行う学生に向けた情報コンテンツの作成、業界研究など。
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	インターンシップ先開拓の進捗管理を定期的に行う。インターンシップ中やその後も、受講生からの連絡や企業による終了確認書により状況をフォローする。

	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの目的についての検討、インターンシップ先開拓に必要な情報の提供、開拓のためのスキルの醸成、開拓の進捗管理など。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップの振り返り(全員が個別発表)、情報コンテンツの作成と発表(グループワーク)、業界研究(3業界のゲスト招聘、25業界に関する発表)など。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ先の開拓状況について、定期的に書面による報告を求め、進捗管理を行っている。その結果を踏まえて、個別に進捗に向けたアドバイスや支援を行う。夏休み中も必要に応じて受講生とメールのやりとりを行っている。インターンシップ中やその後の状況も、受講生を通じて、あるいは企業から提出される終了確認書によって把握している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている 2.社会で求められる汎用的能力等を客観的に測定するためのテストを用いて、インターンシップの実施前後で回答を求めている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ前後にエッセイの執筆・提出を求め、後のエッセイは報告書としてまとめている。社会人基礎力のベースとして作成したアンケート調査を、インターンシップ前後で実施し、受講生に結果を比較してもらっている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	必ずしも連続ではないが、夏休み中に5日間以上のインターンシップを求めている。
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	5日間以上のインターンシップを求めていることから、平成29年度は大部分が5日間。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	7.その他
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	インターンシップ開始・終了報告書の収集、業務日誌へのコメント記載の依頼など。
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップ開始・終了に当たって、受講生を通じて、企業から報告書を収集している。また、業務日誌に指導者コメント欄を設け、企業のかたに可能な範囲で記載をお願いしている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="https://bit.ly/2tNmoCd">https://bit.ly/2tNmoCd</a> <a href="https://bit.ly/2SFtbrn">https://bit.ly/2SFtbrn</a>
問い合わせ先	大学等名	法政大学
	担当部署名	学務部教学企画課
	担当者役職名	
	担当者氏名	湯山 颯太
	電話番号	03-3264-9076
	メールアドレス	gakumu@hosei.ac.jp